第143回愛知学院大学モーニングセミナー

道元禅師の言葉
今、その魅力を考える

愛知学院大学
教授　岡島　秀隆

2018年2月13日

言葉への距離感

学道の人、言を出さんとせん時は、三度顧みて、自利、利他のために利あるべければ是れを言うべし。

利、無からん時は止まるべし。

〔正法眼蔵随聞記〕

テクスト論

　同じ絵本を読んでも、人によって感じかたや気になるところがばらばらなのは、行間にそれぞれ自分の内面や価値観を投影して読んでいるからのようです。また、シンプルな物語に対して、大人が心の底から感動を味わうことがあるのは、絵本に、読んだ人の内面的深さが反映されているからなのでしょう。その絵本を〝深い〟と感じる人は、それだけ豊かな経験や感性を持つ、深みのある人とも言えます。

〔岡田達信著『絵本はこころの処方箋』より〕

心にしみる言葉をさがす

⇩

美しい言葉、自然を詠う言葉、
愛語、深い言葉、鼓舞する言葉、
新たな視点や価値観に気付かせる言葉

⇩

道元禅師の新たな魅力の発見につながる

道元禅師観月の像・宝慶寺蔵

道元禅師頂相・永平寺蔵

真の仏法に向かう強い意志①

入宋求法

　因高僧伝・続高僧伝等ヲ披見セシニ、大国ノ高僧・仏法者ノ様ヲ見シニ、今ノ師ノ教ヘノ如ニハ非ズ。・・中略・・ヒトシカランコトヲ思トモ、此国ノ人ヨリモ、唐土・天竺ノ先達・高僧ヲ可恥、カレニヒトシカラント思ベシ。乃至諸天冥衆・諸仏菩薩等ヲ恥、カレニヒトシカラントコソ思ベキニ、道理ヲ得テ後ニハ、此国ノ大師等ハ、土カワラノ如ク覚テ、従来の身心皆改ヌ。

〔正法眼蔵隨聞記〕

真の仏法に向かう強い意志②

不惜身命の修行

　我大宋天童先師ノ会下ニシテ、此道理ヲ聞テ後、昼夜定坐シテ、極熱極寒ニハ発病シツベシトテ、諸僧暫ク放下シキ。我其時自思ハク、直饒発病シテ死ヌベクトモ、猶只是ヲ修ベシ。不病シテ修セズンバ、此身労シテモ何ノ用ゾ。病シテ死ナバ本意ナリ。・・・

修行セズシテ身ヲ久ク持テモ無詮也。何ノ用ゾ。

〔正法眼蔵隨聞

中国天童寺

如浄禅師頂相・宝慶寺蔵

道元説示のおもしろさ

さまざまな著作

『普勧坐禅儀』『学道用心集』

『正法眼蔵』『典座教訓』

『永平広録』『宝慶記』など。

↓

思索のおもしろさ

原点に返って言葉を再編集する達人

言葉の創造力①（身心脱落）

堂頭和尚、示して曰く。参禅は身心脱落なり。焼香・礼拝・念仏・修懺・看経を用いず。祇管に打坐するのみなり。

拝問す。身心脱落とは何ぞや。

堂頭和尚、示して曰く。身心脱落とは坐禅なり。祇管に坐禅する時、五欲を離れ、五蓋を除くなり。

〔宝慶記〕

言葉の創造力②（諸悪莫作）

はじめは、諸悪莫作ときこゆるなり。諸悪莫作ときこへざるは、仏正法にあらず、魔説なるべし。・・・この諸悪つくることなかれ、といふ、凡夫のはじめて造作してかくのごとくあらしむるにあらず、菩提の説となれるを聞教するに、しかのごとくきこゆるなり。・・・無上菩提の説著となりて聞著せらるるに転ぜられて、諸悪莫作とねがひ、諸悪莫作とおこなひもてゆく。諸悪すでにつくられずなりゆくところに、修行力たちまちに現成す。〔諸悪莫作〕

言葉の創造力③（有時）

・いはゆる有時は、時すでにこれ有なり、有はみな時なり。

・正當恁麽時のみなるがゆえに、有時みな尽時なり、有草有象ともに時なり。時時の時に尽有尽界あるなり。しばらく、いまの時にもれたる尽有尽界ありや、なしや、と観想すべし。

・要をとりていはば、尽界にあらゆる尽有は、つらなりながら時時なり。

〔有時〕

言葉の創造力④（而今の経歴）

・三頭八臂も、すなはちわが有時にて一経す、彼方にあるににたれども而今なり。丈六八尺も、すなはちわが有時にて一経す、彼処にあるににたれども而今なり。

・経歴は、たとへば春のごとし、春に許多般の様子あり、これを経歴といふ。外物なきに経歴すると参学すべし。たとへば春の経歴はかならず春を経歴するなり。経歴は春にあらざれども、春の経歴なるがゆへに、経歴いま春の時に成道せり。審細に参来・参去すべし。

〔有時〕

言葉の創造力⑤（悉有仏性）

世尊道の一切衆生悉有仏性は、その宗旨いかん。・・・

あるひは衆生といひ、有情といひ、群生といひ、群類といふ。悉有の言は、衆生なり、群有なり。すなはち悉有は仏性なり、悉有の一悉を衆生といふ。正當恁麼時は、衆生の内外すなはち仏性の悉有なり。

〔仏性〕

優しさと厳しさと①

愛語、といふは、衆生をみるに、まづ慈愛の心をおこし、顧愛の言語をほどこすなり。おほよそ、暴悪の言語なきなり。・・・

むかひて愛語をきくは、おもてをよろこばしめ、こころをたのしくす。むかはずして愛語をきくは、肝に銘じ、魂に銘ず。しるべし、愛語は愛心よりおこる、愛心は慈心を種子とせり。愛語、よく回天のちからあることを、学すべきなり、

〔菩提薩埵四摂法〕

優しさと厳しさと②

謂ゆるの道理は日日の生命を等閑にせず、私に費さざらんと行持するなり、光陰は矢よりも迅かなり、身命は露よりも脆し、何れの善巧方便ありてか過ぎにし一日を復び還し得たる、徒に百歳生けらんは恨むべき日月なり悲むべき形骸なり、・・・

此一日の身命は尊ぶべき身命なり、貴ぶべき形骸なり、此行持あらん身心自からも愛すべし、自からも敬うべし、

〔修証義〕

驚くべき柔軟心①

おほよそ山水をみること、種類にしたがひて不同あり。いはゆる水をみるに、瓔珞とみるものあり。しかあれども、瓔珞を水とみるにはあらず。われらがなにとみるかたちを、かれが水とすらん。かれが瓔珞は、われ水とみる。水を妙華とみるあり。しかあれど、華を水ともちいるにあらず。鬼は、水をもて猛火とみる、濃血とみる。龍魚は、宮殿とみる、楼台とみる。・・・

〔山水経〕

驚くべき柔軟心②

上堂。三世の諸仏、火焔裏にあって大法輪を転ず。天下の老和尚、露柱裏にあって大法輪を転ず。永平老漢、拄杖裏にあって大法輪を転ず。還た会すや。若(も)他(し)未だ会せざれば、拄杖子、横説竪説重説せん。拄杖を卓てること一下す。

〔永平広録第三〕

名もなき者への敬意①

西川の僧・・・

一日示シテ云ク吾レ在宋ノ時禪院ニシテ古人ノ語録ヲ見シ時アル西川ノ僧道者ニテアリシガ我ニ問テ云ク語録ヲ見テナニノ用ゾ答テ云ク古人ノ行李ヲ知ン僧ノ云ク何ノ用ゾ云ク鄉里ニカヘリテ人ヲ化セン僧ノ云クナニノ用ゾ云ク利生ノタメナリ僧ノ云ク畢竟ジテ何ノ用ゾト豫後ニ此ノ理ヲ案ズルニ語録公案等ヲ見テ古人ノ行履ヲモ知リアルヒハ迷者ノタメニ説キ聽カシメン皆ナ是レ自行化他ノタメニ畢竟ジテ無用ナリ只管打坐シテ大事ヲアキラメナバ後ニハ一字ヲ知ラズトモ他ニ開示センニ用ヒツクスベカラズ故ニ彼ノ僧畢竟ジテナニノ用ゾトハ云ヒケル是レ眞實ノ道理ナリト思ヒテ其ノ後語録等ヲ見ルコトヲヤメテ一向ニ打坐シテ大事ヲ明ラメ得タリ　〔正法眼蔵随聞記〕

名もなき者への敬意②

天童寺の老典座・・・

山僧天童にありし時、本府の用典座、職に充たれり。予因みに斎罷って東廊を過ぎ超然斎に赴くの路次、典座仏殿前にあって苔を晒す。手に竹杖を携えて頭に片笠なし。天日地甎を熱し、熱汗流れて徘徊すれども、力を励まして苔を晒す。やや苦辛を見る。背骨弓のごとく、龍眉鶴に似たり。山僧近前して、便ち典座の法寿を問う。座云く、六十八歳。山僧云く、如何んぞ行者人工を使わざる。座云く、他はこれ吾れにあらず。山僧云く、老人家如法なり。天日かつ恁のごとく熱す。如何んぞ恁地なる。座云く、さらに何の時をか待たんと。山僧すなわち休す。廊を歩する脚下、潜かにこの職の機要たることを覚ゆ。　〔典座教訓〕

詩歌①

・春風に吾が言葉の散りぬるを
花の歌とや人のながめん

・山深み峯にも谷も声たてて
今日もくれぬと日暮ぞなく

・花紅葉冬の白雪見ることも
思へばくやし色にめでけり

・春は花夏ほととぎす秋は月
冬雪きえですずしかりけり

〔道元禅師和歌集〕

詩歌②

・世中は何にたとへん水鳥の
はしふる露にやどる月影
・世の中に真の人やなかるらん
限りも見えぬ大空の色
・にごりなきこころのみづにすむ月は
なみもくだけてひかりとぞなる
・峯の色谷の響も皆ながら
吾が釈迦牟尼の声と姿と
〔道元禅師和歌集〕

道元禅師の言葉の魅力

⇩

強い意志と行動力

優れた洞察・発想と論理

深い人間への愛情 など

⇩

偉大な人間性

多様性・意外性・新奇性・柔軟性 など＝おもしろさ

現代に生きる教え

- 言葉の宝庫としての道元思想

→創造的言語の可能性

- 広い視野から生まれる柔軟で新奇な姿勢

→グローバル人材教育

- 普遍的倫理観への示唆

→自由と平等

ex.・・・仏法を修行し、仏法を道取せんは、たとえ七歳の女流なりとも、すなわち四衆の導師なり、衆生の慈父なり。

坐禅のすすめ（いす坐禅）

MINDFULNESS
A BEGINNER'S GUIDE TO MEDITATION & INTENTIONAL LIVING
脳が変わる!
PRESIDENT
プレジデント
世界が証明! つらい毎日が楽しくなる
心を整える「禅・瞑想」入門
通勤電車、オフィスで実践
20分で自分が変わる
グーグル、ゴールドマン・サックス……外資が続々導入
Search Inside Yourself
サーチ・インサイド・ユアセルフ
仕事と人生を飛躍させる
グーグルのマインドフルネス実践法
チャディー・メン・タン
Google の人材は
この研修で成長する
WOMAN
日10分 瞑想法 最強の手帳術
プレジデントウーマン
マインドフルネス
ストレス低減法
J. カバットジン
春木 豊 訳
Full Catastrophe Living
J. Kabat-Zinn

坐禅堂の参禅会

参禅の
しおり
愛知学院大学 禅研究所
禅
The Institute for Zen Studies
禅
How to Do Zazen